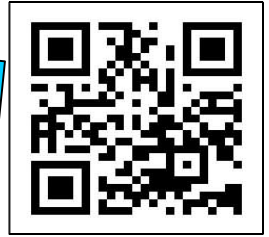




鹿児島県護憲平和 フォーラム情報



NO—154 2023. 11. 1

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム Email:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp
連絡先：鹿児島市鴨池新町 5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

「国体の思い出」

副代表 古殿 義輝

途中、ドカ灰に歓迎された「かごしま国体・かごしま大会」が幕を閉じた。皆さんもご存じのように 2020 年に開催予定だった第 75 回国体は、新型コロナ感染拡大の影響で 2023 年に延期され、大会回数の付与されない「特別国民体育大会・特別大会」として、この度、開催された。2020 年を目標にしてきたアスリート、無事に参加できただろうか。様々な事情で涙をのんだ方も多くいらっしゃるのではないかな。逆に、延期されたことによって花開いた才能も多くあっただろう。運命なのか、巡り合わせなのか、何なのか、ほんと人の世はよくわからんことばかり。

アスリートだけでなく、大会に携わった全員、この 3 年間振り回され、それでも成功させねばという思いで本番を迎え、閉幕した今、安堵でも興奮でも、その余韻に浸ってればいいのになあと思う。私も、開会式以前に行われた水球・飛び込み競技のスタッフとして従事した。会場外の受付で暑かったなあ、マジ。発電式冷風機もぶっ壊れててよ。そんなことはどうでもいいが、会場全体の熱量は凄かった。ボランティアの方々も熱心。もちろん選手団も応援も熱い。「燃ゆる感動かごしま国体」のスローガンのように、鹿児島を訪れた方々が、鹿児島の地で何かしら感動し、鹿児島を好きになってくれたらいいなあと思う。

鹿児島県で前回行われた国体は 1972 年「太陽国体 (第 27 回)」スローガンは「明るくたく

ましく うるわしく」。1972 年といえば、そう、私が誕生した年である。まさしく太陽の申し子として鹿児島に生を受けたのだ。国体開催時の記憶がないので (そりゃそうよね)、ウィキペディアによると、メイン会場は鴨池陸上競技場。大会に合わせ県内の各所で近代的なインフラが行われその後の県勢に多大なる影響を与えた。熊本駅以南の鹿児島本線の電化及び一部複線化、九州自動車道の薩摩吉田—加治木間の建設、鹿児島空港の溝辺移転など。競技場建設のため市街地周辺の各所のシラス台地の丘陵が切り崩されてパイプラインによって荒田や天保山の浅瀬や塩田跡に送られ、現在の与次郎エリアの埋立地が形成されたとある。イケイケドンドンフルドンドンである。

そういえば、今国体開会式のため天皇皇后両陛下が鹿児島入りされた同日、御年 51 歳の太陽の申し子は組合業務で福岡は博多入りしたという。ある意味、組合本線的な一日を過ごしていた。そして、鹿児島で提灯奉迎が行われていた頃、「明るく たくましく うるわしく」育ったはずの太陽の申し子は、諸事情により左ふくらはぎ肉離れをおこし、一人寂しく誰も待つことのない灯りのない博多の宿へ足を引きずり帰るはめに。国体といえば肉離れ。これが私の思い出になったとき。全治 3 週間だったとき。皆様、今日も、おやっとき。



10.7 日米合同軍事演習抗議集会 in えびの



今回の日米合同軍事演習はえびの市と湧水町にまたがる霧島演習場で 10 月 14 日から 31 日にかけて、陸自約 700 人、米海兵隊・米空軍約 120 人が合流して実施するとしています。

集会には鹿児島・宮崎両県および熊本等からの参加を含めて 500 人余が参加、鹿児島県内からは約 70 人

が参加しました。この訓練は、九州・沖縄や北海道を含む日本の広域にわたるもので、日米約 4,200 人が参加するなど米海兵隊との実動訓練としては最大規模のものとなるものです。

今回の「レゾリュート・ドラゴン(不屈の竜)23」訓練の霧島演習場では、欠陥機といわれるオスプレイ 8 機と CH-47 輸送機による人員や物資の輸送訓練等が行われるとのこと。「台湾有事」の際は、南西諸島・沖縄が戦場となり、この地域での防波堤となることを想定したものといえます。

九州各地での軍事基地の拠点づくりが急速に、かつ強化されつつあることがはっきりしてきています。福岡県築城基地の滑走路延長、長崎県佐世保基地への水陸起動団配備や米空母の寄港、佐賀空港へのオスプレイ駐屯地工事、大分県日出生台での米軍による実弾射撃訓練、熊本・県軍駐屯地、大矢野原演習場・高遊原分屯地での日米合同軍事演習、宮崎では新田原基地へのステレス戦闘機「F35B」に合わせ「航空隊」の新設、霧島演習場に弾薬庫建設、VLF 施設の強化、そして鹿児島県内では海上自衛隊鹿屋基地への空中給油機(CH-130)および無人偵察機(MQ-9)の配備、奄美大島のミサイル基地建設と弾薬庫建設、馬毛島の米軍 FCLP のための自衛隊基地建設が強行されていることが報告されました。

【主催者あいさつ】

岩切達哉さん(日米共同訓練反対宮崎県共闘会議議長)「全ての戦争準備行為に反対。『戦争は破壊であり殺人です』78 年前国連は創設されました。政府は安全保障環境が最も厳しいと言い、防衛費を増やし安全保障体制を整えると言います。なぜ不安を取り除く外交努力をしないのか、いま以上に努力をしてほしい。バイデン大統領の要求のみ受け入れ、国民の暮らしをみない政治を変えなければなりません。共に頑張りましょう!

【連帯あいさつ】

谷雅志さん(フォーラム平和・人権・環境)副事務局長 防衛費 2%は国民生活を犠牲にした予算といわざるを得ない。税金の在り方を問題にしたい。例えば、「小学校の給食無償化しても年間 4,300 億円で足りる。年金受給者に月 1 万円・年間 12 万円給付をしても 4 兆 8,000 億円で足りる。」政府は 1 機 1~2 億円というトマホークを 1,000 機購入しようとしている。アメリカの要求する兵器爆買いを許さず、平和外交を強く要求する。

服部良一さん(社民党)幹事長 今、野党の結束が強く求められている。社民党は立憲民主党・国民民主党などと連携をとり総選挙でも協力体制づくりを中心になってとりくんでいきたい。各地

でオスプレイの緊急着陸が起こり、その原因が構造的に問題のある機体であることを認めた。オスプレイは飛ばしてはならないし基地の強化は攻撃の対象になる。造ってはならない施設なのです。川内博史さん(立憲民主党から) 服部良一さんも私も「この国の平和をつくるために再選を目指して頑張ってます。」政府は安全保障環境が厳しいと、各地の基地を強化しています。すべての工事が「随意契約」でされ、しかも予定価格のほぼ 100%で落札されています。中には外泊施設が坪単価 600 万円で契約され、「中身については言えない」と情報開示も拒む。立憲民主党「大丈夫か」と思われるでしょうが私がいるので大丈夫です!!!

【現地からの報告】

宮崎「日米共同訓練反対宮崎県共闘会議のとりくみ」副議長・松村秀利さん 1980 年、43 年前共闘会議を設置した。新田原基地で全国で初めて日米共同訓練が実施された。当時 1 万人集会が新富町で開催され、当時町長は職員にも呼びかけ参加を促した。この後、合同演習は規模も拡大、強化されていることが感じられ、今、米兵のための宿舎もでき、大型機が着陸できるよう滑走路の延長・弾薬庫の建設がされている。「F35B」戦闘機が来年は 20 機配備される。日向灘沖での毎年 11 月に訓練がされている。

「鹿屋に米軍はいらない大隅住民の会」代表・眞島幸則さん 鹿屋基地で「MQ-9(無人偵察機)」が 8 月 22 日オーバーランして地上設備に接触事故を起こしたが事故原因も究明されず、防衛局は「問題点は改善されたとして運航再開」、これに対して市民の不安解消とはならず、「詳細については防衛上の問題」とし 10 月 5 日運航再開した。その直後にオスプレイは沖縄・嘉手納基地へ移すという。問題の解決にはなっていない。

「馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会」副会長・大石正博さん 様々の取り組みに協力いただいている皆さんに感謝申し上げます。国は地元の理解を求めながら工事を進めていくというが、しかし市民生活全般に問題が波及してきている。市民の生活環境にも大きな変化が感じられる。作業員が増えた。地元の建設業、農業に従事する人たちが基地建設の高額日当に流れ、従来の生業が成り立たなくなってきた。現在 1,500 人の作業員が島外から来ている、近いうちに 6,000 人になるといわれ宿泊施設がない、ゴミの増加、水道量が増えた、物価上昇、物不足、家賃高騰、地価高騰など市民生活が根底から崩されてきている。作業員へは基地のことをしゃべるなど「かん口令」が敷かれているとも。

奄美「奄美の自然と平和を守る郡民会議」事務局長・城村典文さん この団体は歴史は古い。かつては石油備蓄基地、次に核燃処理場、そして喜界島「象のオリ」反対闘争をたたかってきた。2020 年に沖縄北部と共に「世界自然遺産」登録がされた。当局は「災害救助」のためと 1 回の住民説明会を開催したのみ。2019 年から毎年日米合同訓練が行われ、今では市中を日米の軍事車両が公道を、そして市民の憩う公園で軍事訓練が行われている。行政は口を開けば「防衛は国の専権事項」と、市民の声に耳を貸さなくなってきた。島民の平和な暮らしを守るために頑張ります!!!

集会はこの後、集会アピールを採択、シュプレヒコール、閉会のあいさつ、団結ガンバロウ! で散会となった。



川内原発 20 年延長の是非を問う県民投票条例制定案 県議会で否決

10 月 4 日に県知事に請求された条例制定を求める請求案は、10 月 23 日～26 日の 4 日間にかき県議会で審議されましたが、県議会で多数を占める自公により賛成少数で否決されるに至りました。法定数を大きく上回る 4 万 6112 人の署名について、塩田知事は「重く受け止める」としながらも、「必要に応じて県民投票実施」とした知事選での公約を打ち捨て、『原発政策は国策』『二者択一の選択は難しい』と否定的な意見を付して県議会に提案していたもの。多くの県民の願いは封じられる結果となりましたが、私たちは今後とも 20 年延長反対を巡る様々な取り組みを継続して取り組んで行くこととします。

水俣病報告会開催 特別措置法の救済策から外れた原告 128 人全員を水俣病と認めた大阪地裁（画期的判決）を不服として国と熊本県、原因企業チッソが控訴したことに対し、熊本地裁で係争中の鹿児島県の原告の方々が、10 月 11 日鹿児島市天文館でのチラシ配布や署名活動に引き続き、県民交流センターで報告集会を開催しました。熊本訴訟の原告は 1405 人で半数以上が長島町や出水市など県内に在住。来年 3 月 22 日に原告 144 人に対し判決が言い渡される。集会参加の原告らは、国らの控訴に対し「まだ苦しめるのか」と怒りの声をあげた。

日米合同軍事訓練（レゾリュートドラゴン 23）監視行動 実施

鹿児島に米軍はいらない県民の会ならびに始良伊佐地区平和センターでは、10 月 14 日から 25 日にかけて、霧島演習場近辺から「日米合同軍事演習」に対する監視行動を実施しました。本訓練は全国各地で連携した南西諸島防衛を意識した大規模なもので欠陥機オスプレイも参加しての訓練であり、民家や家畜舎などの上空を飛ばさない申し入れとともに実施したものの。

＝県護憲・各ブロック主催「不戦を誓う日の集会」開催予定＝**県護憲平和フォーラム主催**

2023 年 12 月 9 日（土）10 時～ 奄美市「市民交流センター」（名瀬市柳町）

講師：清水雅彦（日体大教授）

演題：「安保 3 文書改定のねらい」

鹿児島ブロック護憲平和フォーラム主催

2023 年 12 月 2 日（土）10 時～12 時 県労働者福祉会館 7 階ホール

講師：杉浦ひとみ（弁護士）

演題：「軍拡より生活・子どもたちの未来のために」

南薩ブロック・指宿地区主催

2023 年 12 月 6 日（火）18 時～ 指宿市なのはな館

講師：下馬場学（県護憲共同代表）

演題：「軍事費拡大の中での私たちの暮らし」

